幼稚部　冬のお楽しみ会

12 月 22 日（木）に、幼稚部で冬のお楽しみ会を行いました。鈴の音と共にサンタクロースとトナカイが登場し、子供たちは大興奮。一人一人名前を呼ばれたら元気よく返事をし、サンタクロースから直接プレゼントをもらいました。ホールには、幼１のリース、幼２のツリー、幼３のランタン、各学年で制作したクリスマスの作品が飾られ、キラキラとしたとてもにぎやかな空間での開催となりました。

幼２ぱんだ組

うたやダンスで楽しく始まったぱんだ組の冬のお楽しみ会。ダンスでは「ジングルベル」の音楽に合わせて鈴を鳴らしながら、楽しく踊りました。シルエットクイズでは、車やぬいぐるみなど、影の形からプレゼントを予想しました。難しいだろうと思っていた「絵本」のシルエットも子供たちがすぐに答え、先生たちもびっくりでした。

「そろそろサンタさんがくるかな？」の一言で、すぐに床に寝そべったぱんだ組の子供たち。サンタクロースとトナカイの登場に大喜びでした。サンタさんからの「いい子にしていたかな？」の問いかけに少々緊張しましたが、無事にプレゼントをもらい、教室に帰ってお友達と一緒に遊んで楽しみました。子供たちの笑顔にきっとサンタクロースも大満足ですね。

幼３きりん組、らいおん組

教室やホールで何度も練習したライトサービス。入場前の廊下では少し緊張した表情でしたが、結果は大成功。音楽に合わせて、小さな灯りと共に一歩一歩入場する姿はとても感動的でした。カップ積みゲームではチームに分かれ、順番に決められた数のカップを積み重ねてツリーを作りました。一生懸命カップを積み上げる友達の後ろ姿に、自然に「頑張れ！」の言葉が出てくる様子に、さすが３年生だと感心しました。サンタクロースからプレゼントをもらうと、「ありがとう」としっかりお礼し、最後はサンタクロースとトナカイとハイタッチをして笑顔でお別れをしました。来年も子供たちのもとにプレゼントが届くといいですね。